

注3

大学番号：009

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

北海道医療大学大学院 薬学研究科 薬学専攻

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東日本学園  
平成27年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部総務企画課

職名・氏名 カチヨウ ミ ウラ セイ シ  
課長 三 浦 清 志

電話番号 0133-22-2111

（夜間） 0133-23-1211

F A X 0133-23-1669

e-mail soumu@hoku-iryo-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部(平成◇◇年度より変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」  
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 薬学研究科

<薬学専攻（博士課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 留意事項等に対する履行状況等	14
7. その他全般的事項	15

## <添付資料>

FD委員会規程

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 東日本学園

## (2) 大学名

北海道医療大学

## (3) 大学の位置

〒061-0293

北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒロシゲ ツトム) 廣重力 (平成17年3月)	(トウゴウ シゲオキ) (ヒロシゲ ツトム) 東郷重興 廣重力 (平成24年10月) <del>(平成24年3月)</del>	辞任に伴う 平成24年9月30日 任期満了に伴う平成24年3月22日 新たに就任 平成24年10月1日 新たに就任 平成24年3月26日 (25)
学長	(ニイカワ ノリオ) 新川 詔夫 (平成22年4月)		
学部長	(クロサワ タカオ) 黒澤 隆夫 (平成16年3月)	(ワダ ケイジ) 和田啓爾 (平成24年4月)	任期満了に伴う 平成24年4月1日 (24)
研究科長	(サイトウ ヒロシ) 齊藤 浩司 (平成20年4月)	(ワダ ケイジ) <del>(ヒラフジ マサヒコ)</del> 和田啓爾 平藤雅彦 (平成26年4月) <del>(平成24年4月)</del>	任期満了に伴う 平成26年4月1日 任期満了に伴う 平成24年4月1日 (26) <del>(24)</del>

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬学専攻(博士課程)  博士(薬学)	4年	3人	12人	基礎となる学部等  薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	3人 ( - ) [ - ]	—人 ( - ) [ - ]	3人 ( - ) [ - ]	—人 ( - ) [ - ]	3人 ( - ) [ - ]	—人 ( - ) [ - ]	1.08倍	一倍	A. 入学定員 *「社会人」 「一般」の区分ごとの入学定員は定めていない
志願者数	3 ( 3 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	4 ( 1 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	4 ( 2 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
受験者数	3 ( 3 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	4 ( 1 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	4 ( 2 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
合格者数	3 ( 3 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	4 ( 1 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	4 ( 2 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
B 入学者数	3 ( 3 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	4 ( 1 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	4 ( 2 ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.33		1.33				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 1	[ - ] ( - ) 1	[ - ] ( - ) 3	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( - ) 4	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( - ) 4	[ - ] ( - ) 0	
2年次	/		[ - ] ( - ) 1	[ - ] ( - ) 1	[ - ] ( - ) 3	[ - ] ( - ) 0	[ - ] ( - ) 3	[ - ] ( - ) 0	
3年次			/		/		[ - ] ( - ) 1	[ - ] ( - ) 1	[ - ] ( - ) 3
4年次	/						/		/
計			[ - ] ( - ) 2	[ - ] ( - ) 5	[ - ] ( - ) 9	[ - ] ( - ) 12			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	2人	0人	平成24年度	人	人		0%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	3人	0人	平成25年度	人	人		0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	4人	1人	平成26年度	1人	人	就職	0.3%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	4人	0人	平成27年度	人	人		0%
合計	13人	1人					0.1%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療薬学 基盤科目	医薬品開発特論Ⅰ	1・2		2		1						
	医薬品開発特論Ⅱ	1・2		2		1						
	臨床薬理学特論	1・2		2			1 0	0 ±				担当教員（講師）1名が平成26年4月昇格（26） 担当 柳川芳毅（准教授）
	生体機能解析学特論	1・2		2		1 0	1 0	0 ±				担当教員（講師）1名が退職したため、 後任の教員（准教授）1名を追加（24） 担当 波多江典之（准教授） 教育体制の充実を図るため担当教員を追加（27） 担当 吉村昭毅（教授）
	食品機能解析学特論	1・2		2		1						
	予防医療学特論	1・2		2		1						
	ゲノム解析学特論	1・2		2		1						
	感染症学特論	1・2		2		1						
	薬動学特論	1・2		2		1						
	薬物分析化学特論	1・2		2		2 ±						教育体制の充実を図るため担当教員を追加（27） 担当 村井毅（教授）
	医薬品作用学特論	1・2		2		1						
	臨床薬物動態学特論	1・2		2		1						
	薬剤疫学特論	1・2		2		1						
漢方薬学特論	1・2		2			1						
医療薬学 応用科目	画像診断学特論	3・4		2		1						
	臨床診断学特論	3・4		2		1						
	病態解析学特論	3・4		2		1 0	0 ±					担当教員（准教授）1名が平成26年10月昇格（27） 担当 飯塚健治（教授）
	地域医療実践学特論	3・4		2		1 0	0 ±					担当教員（准教授）1名が平成27年4月昇格（27） 担当 遠藤泰（教授）
	環境感染学特論	3・4		2		1						
	医薬品情報演習	3・4		2		1 0	0 ±					担当教員（准教授）1名が退職したため、 後任の教員（教授）1名を追加（27） 担当 平野剛（教授）
	E BM実践演習	3・4		2		1						
	TDM実践演習	3・4		2		1						
	薬物相互作用解析演習	3・4		2		1						
臨床薬学総合実習	2~4		2		3							
基盤 研究科目	実験計画演習	1	2			18 13	15 19	0				教育体制の充実を図るため担当教員を追加（26） 担当 高上馬希重（准教授）、村井毅（准教授）、飯塚健治（准教授）、吉村昭毅（准教授）、遠藤泰（准教授）、遠藤哲也（准教授）、大橋敦子（准教授）、八木直美（准教授）、千葉薫（准教授）、波多江典之（准教授）、西園直純（准教授）、山田康司（准教授）、河嶋秀和（准教授）、浜上尚也（准教授）、大澤宜明（准教授）、小林大祐（准教授）、柳川芳毅（准教授）、小田雅子（准教授）、伊藤邦彦（准教授）  担当教員（准教授）2名が平成26年10月昇格（27） 担当 飯塚健治（教授）、村井毅（教授） 担当教員（准教授）2名が平成27年4月昇格（27） 担当 吉村昭毅（教授）、遠藤泰（教授） 担当教員（准教授）1名が退職（27） 退職 千葉薫（准教授） 教育体制の充実を図るため担当教員を追加（27） 担当 平野剛（教授）、町田拓自（准教授）
	情報処理演習	1	2			18 13	15 19	0				教育体制の充実を図るため担当教員を追加（26） 担当 高上馬希重（准教授）、村井毅（准教授）、飯塚健治（准教授）、吉村昭毅（准教授）、遠藤泰（准教授）、遠藤哲也（准教授）、大橋敦子（准教授）、八木直美（准教授）、千葉薫（准教授）、波多江典之（准教授）、西園直純（准教授）、山田康司（准教授）、河嶋秀和（准教授）、浜上尚也（准教授）、大澤宜明（准教授）、小林大祐（准教授）、柳川芳毅（准教授）、小田雅子（准教授）、伊藤邦彦（准教授）  担当教員（准教授）2名が平成26年10月昇格（27） 担当 飯塚健治（教授）、村井毅（教授） 担当教員（准教授）2名が平成27年4月昇格（27） 担当 吉村昭毅（教授）、遠藤泰（教授） 担当教員（准教授）1名が退職（27） 退職 千葉薫（准教授） 教育体制の充実を図るため担当教員を追加（27） 担当 平野剛（教授）、町田拓自（准教授）

	基盤研究総合実習	1	2		18 13	16 29 10 11 10	3 4 12 13				担当教員（講師）1名が退職したため、 後任の教員（准教授）1名を追加（24） 担当 波多江典之（准教授） 担当教員（准教授）1名が退職したため、 後任教員未定（25） 教育体制の充実を図るため担当教員を追加（26） 担当 河嶋秀和（准教授）、遠藤泰（准教授） 担当教員（講師）8名が平成26年4月昇格（26） 担当 西園直純（准教授）、山田康司（准教授）、浜上尚也（准教授）、大澤宜明（准教授）、小林大祐（准教授）、柳川芳毅（准教授）、小田雅子（准教授）、伊藤邦彦（准教授） 担当教員（准教授）2名が平成26年10月昇格（27） 担当 飯塚健治（教授）、村井毅（教授） 担当教員（准教授）2名が平成27年4月昇格（27） 担当 吉村昭毅（教授）、遠藤泰（教授） 担当教員（准教授）1名が退職（27） 退職 千葉薫（准教授） 担当教員（講師）1名が平成27年4月昇格（27） 担当 町田拓自（准教授） 教育体制の充実を図るため担当教員を追加（27） 担当 平野剛（教授）
課題研究	課題研究	1~4	10		18 13	15 19 10 3					研究指導体制の充実を図るため担当教員を追加（25） 担当 吉村昭毅（准教授）、遠藤泰（准教授）、遠藤哲也（准教授）、大橋敦子（准教授）、八木直美（准教授）、千葉薫（准教授）、波多江典之（准教授） 研究指導体制の充実を図るため担当教員を追加（26） 担当 西園直純（准教授）、山田康司（准教授）、河嶋秀和（准教授）、浜上尚也（准教授）、大澤宜明（准教授）、小林大祐（准教授）、柳川芳毅（准教授）、小田雅子（准教授）、伊藤邦彦（准教授） 担当教員（准教授）2名が平成26年10月昇格（27） 担当 飯塚健治（教授）、村井毅（教授） 担当教員（准教授）2名が平成27年4月昇格（27） 担当 吉村昭毅（教授）、遠藤泰（教授） 担当教員（准教授）1名が退職（27） 退職 千葉薫（准教授） 教育体制の充実を図るため担当教員を追加（27） 担当 平野剛（教授）、町田拓自（准教授）
薬師専門科目	専門薬剤師特別講義	1~4		2	4 3						教育体制の充実を図るため担当教員を追加（27） 担当 平野剛（教授）

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	25	1	29	3	25	1	29	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 共用：歯学部附属歯科 衛生士専門学校収容定 員150名 面積基準なし		
	校舎敷地	64,222.53㎡	1,650.00㎡	㎡	65,872.53㎡			
	運動場用地	27,800.00㎡	0㎡	㎡	27,800.00㎡			
	小 計	92,022.53㎡	1,650.00㎡	㎡	93,672.53㎡			
	そ の 他	57,315.74㎡	0㎡	㎡	57,315.74㎡			
合 計	149,338.27㎡	1,650.00㎡	㎡	150,988.27㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校舎増築部分の登記に より面積変更(25)			
	72,110.27㎡ 59,373.26㎡ (72,110.27㎡) (-59,373.26㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	72,110.27㎡ 59,373.26㎡ (72,110.27㎡) (-59,373.26㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 改修による増室(27)		
	48 43室	51 34室	51 44室	2 1室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成24年4月 教員異動[配置替]の ため(24)		
	薬学研究科薬学専攻博士課程		55 57 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	機械・器具数の増加及び 標本数の廃棄による減少 (26) (27) 機械・器具・標本数の増加 (25)
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]					
	薬学研究科 薬学専攻博士課程	257,450 [78,100]	3,020 [1,260]	3,500 [2,880]	5,860	74,107 71,623 67,410 643,00	2,165 2,276 2,500 2,180	
計	257,450 [78,100]	3,020 [1,260]	3,500 [2,880]	5,860	74,107 71,623 67,410 643,00	2,165 2,276 2,500 2,180		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		閲覧席を増設したため (25) (27)	
	4,866.96 ㎡		461 445 437 席		275,000 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	1,746.49㎡		屋外野球場・サッカー/ラグビー場・テニスコート(27,800㎡) フィットネスセンター(411㎡)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	実績に基づく変更(25)
		教員1人当り研究費等	491千円	491千円	図書購入費	51,826千円 53,489千円	52,509千円 53,489千円	
	共同研究費等	23,000千円 130,849千円	23,000千円 130,849千円	設備購入費	155,594千円 237,739千円	133,074千円 237,739千円	237,739千円	共同研究費については大学全体
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。
	950千円	750千円	750千円	750千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次	人		倍		
薬学部 薬学科	6	160	3年次 10	980	学士 (薬学)	1.15	平成18年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
歯学部 歯学科	6	80	—	520	学士 (歯学)	0.66	昭和53年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
看護福祉学部 看護学科	4	100	3年次 9	418	学士 (看護学)	1.11	平成5年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
臨床福祉学科	4	80	3年次 9	338	学士 (臨床福祉学)	1.00	平成14年度	
心理科学部 臨床心理学科	4	75	3年次 2	304	学士 (臨床心理学)	0.99	平成14年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
言語聴覚療法学科	4	—	—	—	学士 (言語聴覚法学)	—	平成14年度	平成27年度より学生募集停止
リハビリテーション科学部 理学療法学科	4	80	2年次 5	250	学士 (理学療法学)	1.12	平成25年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1758番地
作業療法学科	4	40	2年次 5	130	学士 (作業療法学)	1.13	平成25年度	
言語聴覚療法学科	4	60	—	60	学士 (言語聴覚法学)	1.15	平成27年度	
薬学研究科 生命薬科学専攻修士課程	2	3	—	6	修士 (生命薬科学)	0.00	平成22年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
薬学専攻博士後期課程(3年)	3	—	—	—	博士 (薬学)	—	昭和57年度	3年課程平成24年度より学生募集停止
薬学専攻博士課程(4年)	4	3	—	12	博士 (薬学)	1.08	平成24年度	
歯学研究科 歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.50	昭和63年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
看護福祉学研究科 看護学専攻修士課程	2	15	—	30	修士 (看護学)	1.10	平成9年度	
看護学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (看護学)	1.66	平成11年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
臨床福祉学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (臨床福祉学)	0.90	平成16年度	
臨床福祉学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床福祉学)	0.16	平成16年度	
心理科学研究科 臨床心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (臨床心理学)	1.00	平成16年度	
臨床心理学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.83	平成16年度	北海道札幌市北区あいの 里2条5丁目
言語聴覚学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (言語聴覚学)	0.10	平成18年度	
言語聴覚学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (言語聴覚学)	0.00	平成18年度	
リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション科学)	1.00	平成25年度	北海道石狩郡当別町字 金沢1757番地
リハビリテーション科学専攻博士課程	3	2	—	2	博士 (リハビリテーション科学)	1.00	平成27年度	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科),

大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A-C対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,  
平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている  
場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上  
の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。

・A-C対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の  
平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし,  
「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小田 和明 (60)	平成24年4月	医薬品開発特論Ⅰ 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	石倉 稔 (57)	平成24年4月	医薬品開発特論Ⅱ 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	黒澤 隆夫 (61)	平成24年4月	薬物分析化学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	豊田 栄子 (62)	平成24年4月	生体機能解析学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習			当初より 補充予定なし			平成27年3月末 豊田栄子教授 大学院担当解除のため(27) 当初より補充予定なし。担当科目については 他教員が担当するため、学生の履修ならびに 教育に影響はない(27)
専	教授	大倉 一枝 (59)	平成24年4月	画像診断学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	青木 隆 (54)	平成24年4月	ゲノム解析学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	岡崎 克則 (53)	平成24年4月	感染症学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	和田 啓爾 (59)	平成24年4月	食品機能解析学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	増田 園子 (55)	平成24年4月	予防医学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	島村 佳一 (60)	平成24年4月	臨床診断学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	富樫 廣子 (63)	平成24年4月	臨床薬理学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習			当初より 補充予定なし 後任未定			平成26年3月末 富樫廣子教授 定年のため退職(26) 当初より補充予定なし。担当科目については 他教員が担当するため、学生の履修ならびに 教育に影響はない(27)
専	教授	平藤 雅彦 (59)	平成24年4月	医薬品作用学特論 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 課題研究						
専	教授	齊藤 浩司 (58)	平成24年4月	臨床薬物動態学特論 薬物相互作用解析演習 臨床薬学総合実習 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 専門薬剤師特別講義 課題研究						
専	教授	唯野 貢司 (61)	平成24年4月	薬動学特論 環境感染学特論 TDM実践演習 臨床薬学総合実習 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 専門薬剤師特別講義 課題研究						
専	教授	小林 道也 (47)	平成24年4月	薬剤疫学特論 EBM実践演習 臨床薬学総合実習 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 専門薬剤師特別講義 課題研究						
専	准教授	吉村 昭毅 (51)	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	教授 准教授	吉村 昭毅 (54)	平成24年4月	基礎研究総合実習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習 生体機能解析学特論	授業科目の変更(追加) 研究指導体制の充実を図るため(25) 担当授業科目の変更(追加) 教育体制の充実を図るため(26) 平成27年4月昇格(27) 平成27年3月末 豊田栄子教授 大学院担当解除のため 平成27年度より担当の変更 (当該担当解除教員担当部分のみ)(27)

専	准教授	遠藤 泰 ( 53 )	平成24年4月	地域医療実践学特論	専	教授 准教授	遠藤 泰 ( 56 )	平成24年4月	地域医療実践学特論 課題研究 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習	授業科目の変更（追加） 研究指導体制の充実を図るため（25） 担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（26） 平成27年4月昇格（27）
					専	教授	平野 剛 ( 47 )	平成27年4月	医薬品情報演習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習 基礎研究総合実習 専門薬剤師特別講義	平成27年4月 教育指導体制の充実を図るため、 教員を追加（27）
専	准教授	高上馬 希重 ( 44 )	平成24年4月	漢方薬学特論 基礎研究総合実習 課題研究	専	准教授	高上馬 希重 ( 47 )	平成24年4月	漢方薬学特論 基礎研究総合実習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習	担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（26）
専	准教授	飯塚 健治 ( 52 )	平成24年4月	病態解析学特論 基礎研究総合実習 課題研究	専	教授 准教授	飯塚 健治 ( 55 )	平成24年4月	病態解析学特論 基礎研究総合実習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習	担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（26） 平成26年10月昇格（27）
専	准教授	堀田 清 ( 54 )	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	准教授	秋澤 宏行 ( 41 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	河嶋 秀和 後任未定 ( 39 )	平成26年1月	基礎研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成25年3月末 秋澤宏行准教授 他機関に転出のため退職（25） 平成25年度より担当者の変更（26） 担当授業科目の変更（追加） 教育・研究指導体制の充実を図るため（26）
専	准教授	村井 毅 ( 45 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 課題研究	専	教授 准教授	村井 毅 ( 48 )	平成24年4月	薬品分析化学特論 基礎研究総合実習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習	担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（26） 平成26年10月昇格（27） 担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（27）
専	准教授	遠藤 哲也 ( 58 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	遠藤 哲也 ( 60 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習	授業科目の変更（追加） 研究指導体制の充実を図るため（25） 担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（26）
専	准教授	大橋 敦子 ( 51 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	大橋 敦子 ( 53 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習	授業科目の変更（追加） 研究指導体制の充実を図るため（25） 担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（26）
専	准教授	松本 真知子 ( 62 )	平成24年4月	臨床薬理学特論 基礎研究総合実習			当初より 補充予定なし 後任未定			平成24年8月末 松本真知子准教授 退職のため（25） 当初より補充予定なし。担当科目については 他教員が担当するため、学生の履修ならびに 教育に影響はない（27）
専	准教授	八木 直美 ( 59 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	八木 直美 ( 62 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習	授業科目の変更（追加） 研究指導体制の充実を図るため（25） 担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（26）
専	准教授	千葉 薫 ( 58 )	平成24年4月	医薬品情報演習 基礎研究総合実習	専	准教授	補充予定なし 千葉 薫 <del>( 61 )</del>	平成24年4月	医薬品情報演習 基礎研究総合実習 課題研究 実験計画演習 情報処理演習	授業科目の変更（追加） 研究指導体制の充実を図るため（25） 担当授業科目の変更（追加） 教育体制の充実を図るため（26） 平成27年3月末 千葉 薫准教授 他機関に転出のため退職（27） 補充予定なし。担当科目については他教員が 担当するため、学生の履修ならびに教育に影 響はない（27）
専	講師	西園 直純 ( 43 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	西園 直純 ( 45 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成26年4月昇格（26） 担当授業科目の変更（追加） 教育・研究指導体制の充実を図るため（26）
専	講師	山田 康司 ( 40 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	山田 康司 ( 43 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成26年4月昇格（26） 担当授業科目の変更（追加） 教育・研究指導体制の充実を図るため（26）
専	講師	浜上 尚也 ( 48 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	浜上 尚也 ( 50 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成26年4月昇格（26） 担当授業科目の変更（追加） 教育・研究指導体制の充実を図るため（26）
専	講師	大澤 宜明 ( 43 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	大澤 宜明 ( 45 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成26年4月昇格（26） 担当授業科目の変更（追加） 教育・研究指導体制の充実を図るため（26）
専	講師	居弥口 大介 ( 37 )	平成24年4月	生体機能解析学特論 基礎研究総合実習	専	准教授	波多江 典之 ( 42 )	平成24年5月	生体機能解析学特論 基礎研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成24年3月末 居弥口大介講師 退職のため 平成24年度より担当者の変更 （当該退職教員担当部分のみ）（24） 担当授業科目の変更（追加） 研究指導体制の充実を図るため（25）
専	講師	寺崎 将 ( 38 )	平成24年4月	基礎研究総合実習						
専	講師	小林 大祐 ( 34 )	平成24年4月	基礎研究総合実習	専	准教授	小林 大祐 ( 36 )	平成24年4月	基礎研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成26年4月昇格（26） 担当授業科目の変更（追加） 研究指導体制の充実を図るため（26）
専	講師	木村 真一 ( 46 )	平成24年4月	基礎研究総合実習						

専	講師	柳川 芳毅 ( 43 )	平成24年4月	臨床薬理学特論 基盤研究総合実習	専	准教授	柳川 芳毅 ( 45 )	平成24年4月	臨床薬理学特論 基盤研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成26年4月昇格 (26) 担当授業科目の変更 (追加) 教育・研究指導体制の充実を図るため (26)
専	講師	町田 拓自 ( 36 )	平成24年4月	基盤研究総合実習	専	准教授	町田 拓自 ( 39 )	平成24年4月	基盤研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成27年4月昇格 (27) 担当授業科目の変更 (追加) 教育・研究指導体制の充実を図るため (27)
専	講師	小田 雅子 ( 47 )	平成24年4月	基盤研究総合実習	専	准教授	小田 雅子 ( 49 )	平成24年4月	基盤研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成26年4月昇格 (26) 担当授業科目の変更 (追加) 教育・研究指導体制の充実を図るため (26)
専	講師	伊藤 邦彦 ( 43 )	平成24年4月	基盤研究総合実習	専	准教授	伊藤 邦彦 ( 45 )	平成24年4月	基盤研究総合実習 実験計画演習 情報処理演習 課題研究	平成26年4月昇格 (26) 担当授業科目の変更 (追加) 教育・研究指導体制の充実を図るため (26)
専	講師	中山 章 ( 44 )	平成24年4月	基盤研究総合実習						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
16	21	37	33 32	4 5	37	65	0	65	0
( 16 )	( 24 )	( 40 )	[ 17 ] [-16]	[ Δ17 ] [-Δ16]	[ 0 ]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	豊田 栄子	定年退職による再任用に際し、大学院担当を解除したため
2	准教授	千葉 薫	他機関への転出による退職のため
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・1の当該教員は定年退職であり、あらかじめ退職が予定されていたため、学生に対しては、入学時から履修要項、ガイダンス等において授業科目担当者の説明等の周知を行った。  
・2の教員については、当該退職教員の担当部分については、同分野の専任教員が担当するため、学生の履修ならびに教育への影響はない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (24年 4月)	該当なし	留意事項	
設置計画履行状況 調 査 時 (25年 5月)	歯学部歯学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	平成26年度入学生より学納金総額を減額、また歯学部特待奨学生制度による入学試験を実施した結果、24%の増加となった。
設置計画履行状況 調 査 時 (26年 5月)	既設学部等（歯学部歯学科）の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成26年度入学生より学納金総額を減額し、また歯学部特待奨学生制度による入学試験を実施、入学者確保に努めた。その結果、平成26年度志願者数は500名（前年比147%）入学者数71名（前年比134%、入学定員充足率89%）となった。 また、平成27年度志願者数は559名（前年比112%）、入学者数は80名（前年比113%、入学定員充足率100%）と改善した。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<薬学研究科 薬学専攻（博士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

- \* 全学FD委員会【全学組織：FD委員会規程（別紙）】
- \* 薬学研究科FD委員会【研究科内組織】

##### b 委員会の開催状況

- \* 全学FD委員会：9回開催（平成26年度実績）

##### c 委員会の審議事項等

- \* 全学FD委員会：①年間事業計画 ②新任教員研修実施要領 ③FD研修（基本編）実施要領 ④FD研修（テーマ編）実施要領 ⑤授業アンケート実施要領 ⑥授業公開実施要領 等
- \* 薬学研究科FD委員会：①薬学教育セミナー&ワークショップ実施要領 ②薬学教育・研究談話会実施要領 等

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- \* 全学FD委員会関係：新任教員研修、FD研修（基本編）、FD研修（テーマ編）、授業アンケート、授業公開
- \* 薬学研究科FD委員会関係：薬学教育セミナー&ワークショップ、薬学教育・研究談話会

##### b 実施方法

- \* 全学FD委員会関係：
  - ・ 新任教員研修会：講義【年1回・4月（1日）】
  - ・ FD研修（基本編）：講義及びワークショップ【年1回・4月（1日）】
  - ・ FD研修（テーマ編）：講義及びワークショップ【年1回・8月（1日）】
  - ・ 授業評価アンケート：各科目最終授業時間・OCR用紙・設問20問・5段階評価【年2回・前後期末】
  - ・ 授業公開：全授業科目対象【前後期・随時】
- \* 薬学研究科FD委員会関係：
  - ・ 薬学教育セミナー&ワークショップ：基調講演及びワークショップ【年1～2回】
  - ・ 薬学教育・研究談話会：本研究科教員による講演（発表）【隔月開催】

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- \* 全学FD委員会関係：
  - ・ FD研修（基本編）：平成27年4月5日（日） 10：00～17：00 【薬学部対象教員：2名参加】
  - ・ FD研修（テーマ編）：平成26年8月8日（金）9：30～17：00 【薬学部教員：8名参加】
  - ・ FD講演会：平成26年9月30日（火） 17：15～18：30 【教員：127名参加】
  - ・ 学長講話：平成26年10月28日（水） 17：30～18：30 【教員：202名参加】
  - ・ 学長講話：平成26年10月30日（金） 17：30～18：30 【教員：90名参加】
  - ・ FD講演会：平成27年1月16日（金） 16：30～18：00 【教員：94名参加】
  - ・ 授業公開：公開科目 30授業科目（69コマ）・参観者 43名（平成26年度実績）  
【薬学部：公開科目 10授業科目（25コマ）・参観者 22名（同上）】
- \* 薬学部FD委員会関係：
  - ・ 薬学教育・研究セミナー&ワークショップ：平成27年2月13日（金） 12：40～16：50  
【薬学部教員：67名中55名参加（参加率：82.1%）】
  - ・ 薬学教育・研究セミナー：平成26年10月21日（火） 16：00～17：00  
【薬学部教員：67名中47名参加（参加率：70.1%）】
  - ・ 第8回薬学教育・研究談話会：平成26年5月20日（火） 16：00～17：00  
【薬学部教員：68名中42名参加（参加率：61.8%）】
  - ・ 第9回薬学教育・研究談話会：平成26年7月15日（火） 16：00～17：00  
【薬学部教員：68名中42名参加（参加率：61.8%）】
  - ・ 第10回薬学教育・研究談話会：平成26年9月9日（火） 16：00～17：00  
【薬学部教員：67名中43名参加（参加率：64.2%）】
  - ・ 第11回薬学教育・研究談話会：平成26年11月18日（火）16：00～17：00  
【薬学部教員：67名中44名参加（参加率：65.7%）】
  - ・ 第12回薬学教育・研究談話会：平成27年2月4日（火） 16：00～17：00  
【薬学部教員：67名中46名参加（参加率：68.7%）】

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全教員を対象とし、「研究活動の不正行為防止と研究者倫理」と題して実施した学長講話により、研究活動に関して全学方針の教員理解を深めた。また、薬学教育・研究ワークショップでは、在学生（第5学年）の参加により、学生の視点を活かした薬学教育改善について薬学教員の意識付けを行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・授業評価アンケート：実施有 ・実施時期：年2回・前後期末（各授業科目最終授業時）

b 教員や学生への公開状況、方法等

・大学教育開発センターの年次報告書に授業評価アンケートの実施の概要及び集計並びに解析の結果を掲載しており、当該報告書（冊子）を全学配付するとともに、本学ホームページ掲載している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成27年度は、入学者定員3名に対し4名が入学し、1～3年の学生数が12名となり総定員数が充足された。新入学生は6年制薬学部の新卒者2名、社会人として病院薬剤師2名で、所期の目的にそった学生確保がなされた。平成26年度には、ほぼ全員の准教授を課題研究および関連する演習科目の担当教員として追加し、臨床床に基礎をおきつつ、より多様な研究課題に対応した教育・研究指導の充実のための教員体制を整備している。3年次の中間発表会も所期の目標のとおり実施することが出来ている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年8月末日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学内教職員及び関係大学、団体等に配布。

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第3回）を受審し、平成23年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。  
・平成29年度に第4回目の評価機関（大学基準協会）の申請を予定している。

(注) ・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

( 有 ・ 無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 年 月 日 )